

数値目標の達成状況（小児センター）

（１）医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

数値目標	単位	2022 実績	2023 目標	2023 実績見込	達成率	2024 目標	目標未達理由と今後の対策
手術件数	件	2,604	2,070	2,511	121.3%	2,070	【今後の対策】 ・新年度4月からは 伸び代が見込まれる診療科の枠を増設するため、手術枠の再編成を行い、入院患者の増加を図る。
救急患者数	人	9,663	7,000	10,246	146.4%	7,000	【今後の対策】 ・重症患者相談システムの利用を促進し、救急からP I C U入院の流れを円滑にする。
重症患者相談システム利用件数	件	47	60	127	211.7%	70	【今後の対策】 ・重症患者相談システムの利用を促進し、救急からP I C U入院の流れを円滑にする。
出生前遺伝的検査	件	590	650	448	68.9%	650	【目標未達理由】 ・日本医学会の出生前検査制度設計が変更されたため。（事前把握をしていたが、NIPTの要件が臨床遺伝専門医から日本産科婦人科遺伝診療学会がNIPT用の認定制度に緩和され、予想以上にNIPT可能な病院が増加したため）。超音波診断装置が1台しかなく、検査が増やせない。 【今後の対策】 ・超音波診断装置が1台増えたので、超音波検査での出生前診断強化を目指す。
患者満足度(上段:入院、下段:外来)	%	95.0 93.0	95.0 95.0	94.8 91.9	99.8% 96.7%	95.0 95.0	【目標未達理由】 ・患者満足度を目標のレベルにもっていき、未達となった。 【今後の対策】 ・アンケート結果をフィードバックして、サービスを向上させる。
クリニカルパス使用率	%	65	65	57	87.7%	66	【目標未達理由】【今後の対策】 ・主に心臓血管外科や救急の緊急搬送患者など既定のパスにはまらない一定数の患者はいるが、使用率を向上させるようパスの作成を検討する。
紹介率	%	80	80	87	108.8%	80	【今後の対策】 ・医療連携懇話会等で連携医療機関との関係を強化する。
逆紹介率	%	50	50	57	114.0%	50	【今後の対策】 ・医局会等で診療情報提供書作成を促す。
専攻医の受入件数	件	2	3	2	66.7%	3	【目標未達理由】 ・専攻医の全国的な医師不足により未達となった。 【今後の対策】 ・引き続き、募集に努める。
保健医療相談件数	件	6,808	6,500	6,916	106.4%	6,800	【今後の対策】 ・L I N E相談の周知を強化する。

(2) 経営指標に係る数値目標

数値目標	単位	2022 実績	2023 目標	2023 実績見込	達成率	2024 目標	目標未達理由と今後の対策
修正医業収支比率	%	64.8	75.3	66.0	87.6%	76.0	【目標未達理由】 ・材料費の価格交渉の遅れ、施設基準（夜間看護補助体制加算）の未達等により未達となった。 【今後の対策】 ・さらにDPC係数上昇・新規施設基準獲得、査定・算定漏れ防止に努める。
新入院患者数	人	7,591	8,251	8,053	97.6%	8,334	【目標未達理由】 ・新入院患者数は増えているが、伸びが足りず、未達となった。 【今後の対策】 ・在宅患者に係る調整入院を開始している。
病床利用率	%	55.9	68.5	58.6	85.5%	69.0	【目標未達理由】 ・平均在院日数の短期化が長引き、未達となった。 【今後の対策】 ・新年度4月からは伸びが見込まれる診療科の枠を増やすため、手術枠を再編成し、入院患者増を図る。
新外来患者数(初診料算定数)	人	10,815	10,776	10,765	99.9%	11,163	【目標未達理由】 ・新外来患者数は増えているが、伸びが足りず、未達となった。 【今後の対策】 ・外来施術の効率的な実施方法の確立・定着による新外来患者数の増を図っている。(皮膚レーザー照射法を集約した枠の設置)
1日当たり外来患者数	人	353	389	340	87.4%	408	【目標未達理由】 ・外来患者の3密を避けるため、経過観察患者の再診サイクルを延ばす調整を実施した影響もあり、未達となった。 【今後の対策】 ・再診サイクルの再見直しによる再診患者増を図る。
公的研究費獲得額	千円	20,000	10,000	20,106	201.1%	11,000	【今後の対策】 ・新規研究費獲得へ申請件数を増やす。
臨床治験件数	件	27	31	23	74.2%	36	【目標未達理由】 ・治験が不慣れな医師や未経験な医師また、一般業務が忙しい診療科が多くあり治験依頼はあったが、受託できなかったケースが多くみられた。 【今後の対策】 ・新規治験の獲得数を増加させるために、医師向けに勉強会を実施する。なお、治験に不慣れな医師を院内CRCや治験事務局が積極的に支援を行う。また、小児治験ネットワークや国立成育医療研究センターなどと情報を共有して、当センターで実施できそうな治験を担当科に紹介を行う。
新規治験実施件数	件	8	12	7	58.3%	14	【目標未達理由】 ・治験が不慣れな医師や未経験な医師また、一般業務が忙しい診療科が多くあり治験依頼はあったが、受託できなかったケースが多くみられた。 【今後の対策】 ・新規治験の獲得数を増加させるために、医師向けに勉強会を実施する。なお、治験に不慣れな医師を院内CRCや治験事務局が積極的に支援を行う。また、小児治験ネットワークや国立成育医療研究センターなどと情報を共有して、当センターで実施できそうな治験を担当科に紹介を行う。
院外処方率	%	92.0	92.0	90.0	97.8%	92.0	【目標未達理由】【今後の対策】 ・引き続き、特別な事情を認めた薬剤以外は、原則100%院外処方とする。
後発医薬品の使用割合	%	80.0	80.0	82.0	102.5%	80.0	【今後の対策】 ・引き続き、後発医薬品服用・使用の推進を行う。
職員充足率	%	100.0	100.0	96.6	96.6%	100.0	【目標未達理由】 医師・看護師が欠員のため、未達となった。 【今後の対策】 採用・募集を広く行い、職員充足率100%を目指す。